

麻しん・風しんの予防接種を受けましょう！

当院では麻しん風しん混合ワクチン(ミールビック)の接種を行っています。

1962年4月2日から1979年4月1日に生まれた男性は、**定期接種**として風しんの予防接種を受けることができるようになりました。(2019年～2025年3月31日までの期間限定)
ただし、事前に抗体検査を受けて、風しんの抗体が基準より少ない人が接種の対象となります。

妊娠していない女性及び定期接種対象者に該当しない年齢の男性は、**任意接種**として風しんワクチンまたはMRワクチン(麻しん風しん混合ワクチン)の接種を受けることができます。

麻しん風しん混合ワクチンは、1回の接種で、麻しんおよび風しんに対する免疫を獲得することができます。本剤を接種後に他の生ワクチンを接種する場合は**27日以上**間隔をあけて下さい。

麻しん(はしか)ってどんな病気？

麻しんは、麻しんウイルスによって起こる感染症です。

非常に感染しやすい病気で、免疫を持たない人が感染すると、ほぼ100%発症します。

【主な症状】

- ・発熱(最初3～4日間は38℃前後、一時下がった後、再び39～40℃の高熱)
- ・咳 ・鼻水 ・めやに ・発疹など

【合併症】

気管支炎、肺炎、中耳炎、脳炎など

予防接種を受けずに麻しんにかかった人は数千人に一人の割合で死亡することがあります。



《 妊婦が麻しんにかかると…》

麻しんは感染力が強い病気なので、免疫を持たない妊婦が麻しんにかかると流産や早産になる可能性があります。

風しんってどんな病気？

風しんは、発熱、発疹、リンパ節腫脹などを特徴とするウイルス性の発疹症です。

【主な症状】

- ・発熱 ・発疹 ・リンパ節腫脹

【合併症】

- ・関節痛 ・血小板減少症紫斑病 ・脳炎など



《 妊婦が風しんにかかると…》

目・耳・心臓などに障害を持つ赤ちゃんが生まれる可能性があります。

予防はワクチンが最も効果的ですが**妊娠中は接種できません。**

このため、妊婦の周囲にいる夫や同居の家族がワクチンを接種し、風しんに対する免疫を獲得することが大切です。

